Nagoya University Library

おちくぼ　春

W
913.35
O
4－1
0

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
1／82

Nagoya University Library

913.35
D

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
2 / 82

Nagoya University Library

60217

はむ〻中なるんゝ乃むすめまた
まへるたちき大君中の君ゝ
して西のそいゝ乃んかのそいゝえるくゝて
ゝまをそゝまをそゝまをそゝふゝ三位の君ゝしこゝを
ゝてまつゝ給てんゝかゝ所きゝ
ゝゝたくかゝ乃そゝまいをるわゝゝゝゝて
の君ゝてゝをなき所むすめたち
かゝこゝろやゝゝたゝをゝ乃んつかゝまゝをるこゝゝち
のかゝるゝゝたゝかゝゝ所ゝんゝ乃くなゝちゝの
乃ゝ所をるおゝくなゝるゝゝこゝろ乃をゝ所る

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
3 / 82

Nagoya University Library

ゐるなんてまゑめけるきんをちとをいたゐ
ゐれくことはまゝていとせをまふへゑをあゝよ
名をゐゑゑむとよまえをさたおとゝのおなよ
ゝてゐあゝしとゐゝみをまいてをちゝのの
君といへとゐをまへをくをさふおゝも
ちこまゐらうをくやたほゝゐをなゐよゑん
まゝてゐゐゐくこのれまゝよてゐゐるきこと
おゝゐゐゐてゐくゝゐたくをなくゐゐゝを
なゐゐゑををくおやゐたてゐるゝたゐわ
ゐゝをゐゐゑるゐゝゐめされゐるをんなを

ゝてゐゐゝゐゑゑゐゝてゝをゑゐるあゐれまた
ゐひかゝてかくこ時をゐれをさるハひきゝを
めかくちハかくゝゐをきゐふれむてゑんゝを
をゝゐるまゑゐをゐてをきゐてゝをなをてある
をものゝゝゐゐハをなゝやゝく物ゐひゝる
まゝこ世牛めあをれまこてゐゐゐをのをおゐく
をゑゐをかくめをゝうちなをゑ

日ようへてゝくあをほゐる世牛よ
ゝてゐゐゑゝめををいるをちん
ゝいをていゝゝ物ゐひゝるゝほゝておゐ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
4／82

Nagoya University Library

かくこゝろ屈さうくてこゝなるをなりて人お
らていとよくたつへ給しとゝ給ハをへんて
君の六七たうわよて たてゝ給るよなりゝお
い給るまゝよたやうのことをたたうゝ
ひさ給れてむうひてのうう君すてうわる
ゐよてと心よりれあるまてこをよなりてをと少乃
かくあをまへて 暗くをゝ方ていくくといと屈
のあるまゝよをのめふすをなひ給れていとお
うけよ元初わめひ給れていとよう光わこ
となるかかちなき人ハ物まをやたなり

元るうよれよて方るのむこ乃さうてく
いさうなるひまなくかきあひめをせる人てた
りてをものいそうかゝうよていをわよ
めてハいさうむそきたてうわのすをさよ
をのうゝうふるなるよをやくよせんとなり
むとをを給へてうちなゝきていてなをきし
うせめるわさいかるとなけくこ乃君よりてうを
をてまたわ給てやて差人サ存わてををわ給
ひてけてををふことかうわなゝたちくふの君ま
ゝてハとなくうてきてをるわくめてた

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
5 / 82

Nagoya University Library

きゝ人いたくうやうやしくまゐりさする人中をなをなむあるにはわやなをくいとわれ乙れをうちなきてあふまをよ

西中よりてあるゝとたりゝとを

かるてあるものいうきをなわ乙わ

うしろ見といふをたかをなくおゝ乙なれを乙

の君のかくまをくうゝいつうゝろえいをいな

くかるゝとおりひてわゝ君をうまつるむ

とおゝひてゝをををうたゝめるるもの

ゝをわつをいゝをゝをゝをゝをゝわゝ

をてまつるむとをゝ乙を君をなをおををとこ

ろををむかをわおをををゝをゝをゝをゝをゝをゝ

このをゝをゝをゝわにをゝ中くうゝゝをゝ今

とゝをふ乙ををををゝ乙ををゝをゝ乙れをわ

をれをををゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ

をゝをゝいをゝ心をゝをゝ乙れをゝをゝをゝ

をゝをゝむをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ

をゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ

をゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ

をゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
6 / 82

蔵人少将のかくこなるこそちたるさいはとさ
まかるもの公おこなひにかよひしてとうへ
てはこしうなりひてすむかるをすへきてなく物
かなはしける所をもこのわか君の御ことをかい
ふれて北のかたの御こころのおやうにてあはれ
をてはませたまふてまゐるあるのふてささるはれ心えん
れかちのおもしきまよやうなをかくるうらな
たて侍すおほふやうすむ人にめすまませさ
てあつらんとあられあるものといふたりふ
こうそちえたの北おやはたた大将を宮しなるれ

むすこ右近の少将まておもしなるをなんやし
なむもてまゐりてなるきこめもおもせすた人
のむすめなと人にかくらせす人にきひこえ給ね
てにをちてたをちうのの君のうへをかくわき
こしられも少将えてこまわて三つなるひとの
にこのわかくらせてあそれいふにおもひむさるに
わらいこそわてるなるをりしわまにられみそら
によこそもとのすへてそてはまもあか
しりけ給ひしいはかくるんともの侍るも
とよせていまにいひしてるにてはこてむ

Nagoya University Library
名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇學館文庫
「おちくぼ」
10060217

Nagoya University Library

ろしたとの御まひてみちたちあこきゑか
くなんとかき色たゝいまハさやうのすかけ
てもたかしうぬうちよいかゝ色このを
とゝたてまつりものをとりてたるして
いろゝのもとみちたき根もまたゝう今ハ
きえんといゝこの花のつきなるひゝゝ雨
さうよハ元やわ花おちやうなるこゝろハ
かゝなりておちくひゝ雨をたつひて
なんゝゝ八月ハいそちゝなゝ君を
ゝわゝてハも神ゝまあまゝゝ君我を

むゝまへいとわ元しとひたゝ
我ゝ露あゝれをかゝたゝ立かへ
ゝうよりきしようきハなれゝん
ゝゝなくさゑよいとひちゝたゝゝ色乃
ゝわゝてのたのてゝこれゝかくゝすくいて
ゝ侍ゝむかゝてのをハいゝハゝてゝ色合た
むといゝゝよいゝへ色世たいをわつひてゝるゝ程
ゝこの君乃ゝてゝうたまへゝてのゝる色ゝちぬ
心のうちよハとあゝゝかゝてゝ色ゝたゝハを
なんやめかやうたゝ世ぬまさハゝわなゝ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
8／82

Nagoya University Library

ゐて侍てしなんと思心ゆゑあまた
なりてをこうちなるまゝに花をも
きこえうせなんわさとおかるとたかはさちて紀
大侍従よまいりたれたいつすてかゝ夜はいを
作りハをうくなんと浦まてよいとたゝけ
ゝなりかやうゝすちハたやあるへハたれうと
をかくしいをゝおゝしゝ心ゝかゝるようとあれ
てよをゝ給をゝとゝ世をさ遊てをゝ花よ
花をハハへむことゝ見しいをゝをる
紀心ちすへゝらうたうなを覚てハこゝて

むへてんさゝよハあるかまゝてをやゝなんか
しとゝゆへをそのほゝとゝ花をゝ決をゝう給
をゝてなんをゝうまつるなりといへて女侍乃命
をそハさゝむへゝるれをゝよハいをのハまをやゝ
よハなをををれよゝるとハわすれゝとのゝ
まへををちを紀ゝをあちきゝる紀りな
ゝとゝ世を君ゝうちわゝむ給ひてなくゝふん
とをゝをいむをゝへゝれゝるゝやなをゝうち
わゝむをてこれををゝてれゝをたまへををゝ
よゝわてあこ紀よれゝあをゝてひさいををれを

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
9／82

Nagoya University Library

あるえんらくなうよそとうそしなしすを
きこえてとハへてなをハかへわせこ物をへうよ
よあるハてよハあるといへてゐわてまいわ
てかゐきこえ侍ハあてとてそてまつれて
行ようえをきハ絵てハらとハの絵てんやと
のふてそてあるねとハたくやきてまへるうへ
ゐハ心を侍るえきこえ絵うといへといるへし
絵をよそるかくのこあて

君あるときくよ心をたるてはゐ
ゐひと窓ーハたるけをそそ丁る

たるのハてやをむとわこちゐたしとゐなける
所ゐきこゐを見てをるまたてゐたのそこ
よ入てそちゐそハたいるそハたんるつや
いてきこるへてるるをさ物絵ハるわハをを
ゐてそちゐとハいへていてやるておそまよ
見ハかるむ我るたえも思やうてといへし
いてやハ心のそのりをよたてをてなとうハさを
とふハたゐんておとをこのよたてきるを本ノ
よおちくかをさるのそひて見をまへてなわゐ
いとあるてそうるよおをゐいとうつそるを

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
10／82

Nagoya University Library

とてかすてかるるであるしるしやん信そんみ
なわいとあーわるれとハえそてまつまきまつやん
こゝなれるゝを心ゝこてするてゝよえゝて
ろしゝあなわゝかゝへきゝ変あゝそゝろゝを
したまへかゝてのゝをいまするいゝゝてゝをゝた
まへゝをつゝをゝて物をゝれしかゝりそまし
てゝ小ゝかゝゝおちくゝてゝさゝしのをきゝろに
きくいゝをのゝをすくるけなるゝろたあを元
ゝをうちきゝてゝるゝわつまゝをゝを心ゝるき
あやあるゝを元をまへゝるいたゝむゝんゝろた

まへゝ小ゝかゝゝつねゝゝを元をまたまゝゝ
ほゝ信ゝやあゝゝをゝえきゝつれ信ゝぬを
ゝを元をまへゝあをうゝを心ゝやちゝやゝゝく
きて心をゝゝくゝしかゝすをわんゝゝといへ
ゝふむこのサ修の君ゝゝへゝのゝ海あゝをせよおこ
せ信ゝを元いゝつゝわをゝくあゝれよろくゝよき
あゝを元をまゝゝむゝとのゝへゝるてきくゝよゝう
たゝゝかゝゝわゝいゝゝゝこゝをゝけゝあひゝをゝへ
をゝ小ゝかゝゝうゝとおりひゝてをのゝきゝるあや
ゝゝわゝゝこのなへゝゝるてゝを元をゝへゝをゝハゝ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
11／82

Nagoya University Library

てやとなるまでよいうるせまりと行ふよさう
うまりとおもふう心ちクをすれをうまや
ひむこの君ハあるきことをもかうまくいひ
よれてをたくちえんこうむる心ゆるれて
このさうそくとをいとくあひおうせを
ゆとかむをてこそをちゆ小クるこよかくなんとき、
こゆをてあるう所おちくゆの君よきうよるこて
うをこうわせんをめそうやうのものいくをさ勢て
あるそよれうをてゆをひよて人まをもち
わるまんをクそとのたまへをこうちいとい え

しるうをのふうふるあそう君をとうのひて
ふもあるるかくてサ作りむうゆ作て行れ
そみれ文するきこよさうてあわ
かるいていあるひあえはるすき、
そよをれようちるひうなん
れかへゆハなるをくふれるくするはうきてそて
まつるる初よわハをものおりをうをるるて
雲まるゆこをれの秋を人ふれ
こそうクうちしかれそるわ
れ迎をなる文

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
12 / 82

あまの川雲のかけはしいかにして
ふみみるはかりわたしつけん
けしきあり祢ともしはいひわたりたまへとも
てれゐわなしいとうきものはつましけれはうち
みかやうのこともまたしらされはいは
いふともきこえあつかむもりありけしかり
けはらくなしなしとみえてるたる返ことなひかりた
えてなきことそちえたよりさまへてきこえは少の
方のいとしく心おしくて我ゆかさらむ返事は
てもきこていいとしかんとあらかれおもひけるに

きちはくこそ見まつるとなんききてたしむなし我
をみそうはいむかしのやへにわか君の御返事ないふ
ひかくやあかそんいそとみえあかそ十日そのをを
と流き給をそ恩日いてのやへわ日ころ
かきそへてやもやしるまはくるて
いときはかりのけりのうくき
おふさとまへるえのひつきとさて ものえありまし
思ひ入へたなん人きれは人かりそともあきそらち
うた上かうもとりのれかへしきこえてまふへしかそ
るんの給て心よりみぬうとさいいむとしていへは

Nagoya University Library
名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
12 / 82

Nagoya University Library

あこ兒い者〜むやうを
たを持〜そうをのを
まつまと中ウ君の御おこの右中弁と
見て丸給えのうあひ給ひて仏を
なーサ條々よい〜ら物やあんとたりん
といと心者の兒仏心をさし　見て花いさる心
屋やさこりうをんをちをきをそく
ををををまへとれかくくてみをていとへさ
ハ〜きとかるをそうをへき、おわしるて
おりあわくかとよこ方ねるを兒くりんく

〜よい〜山よまうて者をまよ御とをう完
をひきこゆるまよりてたをををををき
へこてまうむてををををちとおひてまうつるよ
たちくかの君うをへうり門ををもいるれる弁
のれかくおちくかの君わて おをを元とわこまわ給
をんいとたーきことを戸をまへてさてうを
いつうわきーたるをを元ハわひをものやあん
とするなをあうををそをうちめてかを兒る
うよ兒とて丑ひけて やと給ぬあこ兒ハ之の
れかる人ていきなくさうをををておえ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
14 / 82

すゑなめの君のおとうとひとりおとするはいらし
くだりもてすゑつけの君御めとりてしあ
きそせにさそわしかのおちくぼの君のひと
ありおとなしきもおもひてふなやわとそうそて
えいとわりなき事をよくそへなわさ事へと
あらそまいらむかくたのしきことをみしと思ふ
人はあわるんやぶんるそるを志ひまいるみちおこ
うわれしくもといへて事よさや思ひなむそしたら
いうあるよさうる事へさせてこてめすふのさわて
出給ぬきてかいすみて心かくそくなきとわの君

とうちかくらひわたる程にすちて記のうへとわ
れともよまいりて給ひたちときくは識りさうらはまい
らんとらひされもれかくのるあまじけにおいして
こまうせ給ぬきてるうしおのいと清くなる
なるんなくさめつへくてたえせおわとうおもひし
思ひるすともておるせといきそるは女御この
のれかくこよそていみしくたのしさ事へ君たりし
かよひくる人給てんうしといへるなわなりそち
てたは事をなかりて女御の君よそえせそて
まつもてこもやこれなわかみのていさうこ

Nagoya University Library

うかきこそれしもなきおほきみにてハあやしくれいならて
たてまつれこのまふ思ひとゝ悩きこおほし給てむ
とやせて君かのいふそんやうなるおほしこそ
みせそんとうのまへてさるを御めへきゝたてまつれる
御のもとやうちわらひ給てれかくこみおりて
しろきゝしきしまこわひさしてくちすくめそ
なるらむかきこそまひ給きて

治まる花なうしとおりへるへいらた
思ともしとやそておもひわかるれ

なさこるとうハすへきていつとて おやまたうしき

さはるまるくらこゝものひとゝ思ふくろうしておはす
へ礼いまうていまゐらむとてまつらむといひ
れたれてあこたまはるれていつはりとい
へてくるこゝろれなきみせなわのまへいてゆら
ことまこそあらぬといへとこはていぬ君給
とはしくなる術にてえのふて思やきにて
つるとのへてそもちてたゝのをしく給
ひて給つるを惜んしつゝけるに給るめわといへハ
うちて心なしみられるやうにてそ人にしら
せぬ人ハむこんなるうそはけしとてそのしく

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217

Nagoya University Library

よたもかふわ
ーてきしくのこまわもつるとさわけなくて
あるいふいとさうくーやぞんるこをのこ
ーよくこをのくわよやんとてはのあん
をのそまへといえよやわられそるくろ
るうーておーきさ面ーてへさわいまひと
つかたかきやなるよいさ面くうくをのい
ろくのをちひうすきこきいれてうこへそて
てやいこ恋いをてこてよてるあやくあハ
ーーきくらにきるれをひよそへいそ

ものむをつーうこのやいこめハにゆとそて
むへよをものーをへといへてさうくーくなるく
ーたをみていそてそなたい心さをえせんと
たりひてこるなわくそんるみちあやー面
めるゆやくーるにちこう給へるよこて
あのをとえんすしくをちたうちわひゆ
をるえまろハかやうまえるーくよハこてんや
をんるこをのこさかーらなをてにゆえれわ
かくーてよてたよさわるーてかるみゆ君
ろ河心をへとをかるこよを面ゆれをも

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
17 / 82

Nagoya University Library

たゝせてうちゆみてまゐりぬ女君へ
ちゐき御ものいとおゝうちつゝうひき
ものへ給ひてとゝ給おゝときてかゝるわ
ゝたまゝ元ゐるゝいへてさうこうへの六さい
まおとゝ殿ゝ時よりゝへてまゐりまのへるとと
ゝかゝとよ少将ゝの元ゝてたゝよゝわへをれ
ゝてきこゆへきことあわてなんゝちいてゝまへとい
ゝよまゝとゝちゝきゝ心えておゝゝよゝるよ思日
てゝろあゝゝしくゝゝ今をいのん仮ゝて
いていあまゝとあこきおまへゝ聞いわぬ女房いた

かゝる雨ゝきゝゝるゝゝてかへ仮なゝあゝ
ゝゝちゝゝ知まつ出せうゝゝを行ゝ世てゝゝる
ゝてゝをおゝゝまゝゝゝるかゝるへゝ乃出心をゝゝ仮
いゝかゝきゝゝゝまゝて伝ゝゝ世ゝ少将ゝをいゝく
るゝてゝゝちゝゝてゝゝゝちゝへゝゝさゝれお
ゝゝゝ世ゝへゝてゝをゝゝゝゝ入ゝゝゝゝ聞ゝきゝ
ゝゝきゝゝゝゝてかへゝつゝ秋さゝゝゝ乃わゝゝゝち
ゝゝゝゝてあゝへきゝてゝをきこゆへゝゝゝる
おわゝゝゝゝゝろゝゝゝゝまつかいまゝゝ世
ゝ世ゝゝゝのゝゝまへゝゝゝゝゝろゝゝゝゝ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
18／82

Nagoya University Library

せう殿給ものいふうひの君のやうちうとき
こゆきとかさねうわあへて袖をかつきて いへら
そうわとわるむからうちうをゐよいきをつて
るまのこうねんやうんつくるとてのきて三てし
まのこうなる君ゐんそきまへくきめへくやへとも
しうわ不てひうちうてたるをきとえ
ゆむうひゐるハあこたなわとこゆるやうた
かうたきたうをて三ろきこゐるうへ
やうなるハわまのあこんきこうわをひるた
るへへあわ君なうへしてこうきこゐうなへる

とゐゆるきてうゐのうをまるこなるうへし
ううわこまるひうさかをてををみてあきを
かかハみうまかうたきかをのかをハたう
こをなわうゐる話ようきてぬくちかしたな
うれたとたゐまハとおかしなあるをうの
わさやへあわといふむつるををやひとふこ
をりいといみしくあてをうなわへまあひる面
うわあるうちうたきへうさうしん大かうまへる
れをたをろしをたりほうんあうといへを
なををやかをろしさハめるきをれをとふ君

Nagoya University Library

いてゝ人をもいうれたるわたうまつりへき
ほうさいといへるめをたりへるくかひをと
わらむすふ心のうちよいふねもそろへたる
てつとおりくんをのうとおりくれとそや
そのうへよりいてゝ神をのまへをさうよゆき
てよりまをとこよひおまへさきゝぬをや
うをゝおりくまとといへるくいまへのいたる
ときこゝむゝあゝ屋よいてをまへゝき
こゝ原ををいたる夜うゝよかゝうまゝやとて
わうををゝあゝてゝいてゝをれをゝき

ゝへて西方をひらかる夜めをひらかる神をゝひ
原ををいさゝをまへといへをせわゝひてをよをる
わといへゝとこのをいてゝゆきてゝをゝねをゝい
をて神のをるさ屋をたくわてゝ方をわ君
なを神いゝ四をてををゝなゝまゝたを
ををゝ

なへて西のうくなる時ハ方おくゝん
いをゝのうへのまゝうゝ光こ母
といひてゝをゝまゝ神いるまゝ光をまゝ人を
るををつとおゝをむからゝをきめをゝをいよう

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
20 / 82

Nagoya University Library

てちかてをゝあゝて入めるよいとたそうそ
てたたあるかゝよゝ事とわてこゝへそきふ
あこゝたからゝをあゝるゝゝたゝをきゝている
らむゝおゝちきまゝひておくきゝちゝたゝ
ゝゝよおこゝゝよこハなゝそみかゝゝうなわつるを
あゝそゝゝんむといへゝいめゝん祝すゝなゝんゝと
たゝちきこ給ゝそといへゝなゝてうゝゝゝゝゝたる
やうゝうあきゝい事ゝといへゝなゝわゝこうせん
祝ちんゝゝゝきこてゝ事ゝゝゝあるわゝむゝ
あるうゝゝてゝいゝおゝゝゝてゝたゝてゝうこ

こゝたきゝこゝゝゝゝてゝひきゝゝゝ女侍
ゝゝへゝなゝゝゝゝうゝゝゝゝゝてゝるゝゝひゝゝ女た
ゝゝゝうわゝたゝゝゝてわるゝたゝてなく女侍
いゝゝ心うくおゝゝゝゝゝゝ西中のあゝたゝるゝを
きゝこゝむいゝゝゝうゝゝゝゝてゝまゝてゝん
ゝてゝゝゝのまへゝたゝゝなゝんゝゝゝゝたゝ
めゝゝうゝいゝゝあゝゝゝゝうゝゝゝゝひすき
ゝゝる思ふゝゝゝいまきゝ三めるゝのまかゝゝなく
ゝゝいゝゝゝゝゝなるゝゝたゝきゝわゝゝゝゝを
覚てゝきのきいゝてゝわゝこゝたゝゝゝゝを

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
21 / 82

Nagoya University Library

弓所をちらしたるなといはるゝかつよきこゝ
をきてさしたるとおもひてまゝむをくるもさら
よおうさせねとわの我をいうようなゝてまま
ぬかくハすなるやあゆゝとハるむついあ
ハるやうなるとゝるゝ心ゝわゝるをつるゝてて
らをちかるくわておくれてをちをたわゝ
とこゝろよゝもゝあゝとしをゝたわせよたゝ場
あゝをゝへよこの時ぬるゝいんやいおゝこ
よゝをたゝてゝ先んいまいまわたまひてもひ
あゝとゝへをゝなゝををなくをつるひをれ

とをよいへいとゝいみゝたわさるいうたゝ
まゝるんゝてるゝあるわゝをゝをゝるぬ
祝らきゝをゝをひてあひたゝさをゝるゝ人
よんゝゝるゝこゝゝいとつゝたゝむをれを
ゝてゝゝゝうてゝ面をゝよサ條の君ゝんをの
つ給をんゝてたをゝゝゝわつるをいゝなゝんゝと
なんあるかまゝてをかくてをゝ御すくせをあ
らんとゝふをゝいとゝよゝゝゝ紀をゝたゝゝ孫と
君ハゝてゝあゝせゝとゝわゝとおゝさむゝわゝ
とゝゝゝよゝこゝよゝをゝむゝてゝよきゝてゝんとゝゝを

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
22 / 82

まくちてわろしききぬをきて見給ふてすやある
こゝちゝうら見給ひところゝちせさあへ候
きをたまはらはわたらこ君はとかうしもたまひ
きるはいはなるみち人かまゝはあらねとえかうま
てはあけは給かしとよはあらすとたゆるそひ
く御事を見つとことのの給はさわしとたんな
きこしみてきこえてもあらえやとなひし
かとも聞えしそゑんなわて後はとあるれよ
たちしまひしうてかくすくまれしてまゐらせさ
すくせのあるなれなると思ふまへらるれしたうきら

うから候のこなんしかいらせ奉りてまゐらわすまし
まへきて女さめくきゝ心ちしすふひとへきこゆる
してえ侍ひとつきてところくあらえよさまつ
きゝるを思ふにいとゝいちしとはをとろなわ敷
よわさしあせにもそなわたらこ君もしてのみ
たゝ事こそ見給ていとおしうあるれはなり
かくよろつたかくうまへとれいくあるへくもたかく
すゝろつきにあこたていとつらしとなけかるう
してあなにやの御のなくてゐすれてもおとこ君
君かくなたあなにさらなおちまきさな

Nagoya University Library
名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
23 / 82

Nagoya University Library

いとうめしきものとおもふかな

いく時くりかへれどきくはいとゝ長き夜あゝ

ちはやこの給はかくらゝあるよしあるものゝ

人こゝろ見よはいかにさくへ侍

なくわかるゝ思ふ世

とふ君はいとらるゝ世の中の君なをうわ

よ見ひしてまゝ思ひよりひまふ所車にてまい

ものとふをこゝてさちて見あこ見よまい

ものてものへといへてへとへいまゝてけさまゝて

むゝよまゝろゝ志ものるこゝくゝてなゝかあ

ちちきこゝなく人ようまゝ世てまゝること

こゝろんするいをけるきこゝをゝるおゝ花ゝこ

ちゝ見ゝうちわるひて君ゝゝ給ゝまゝた

きゝんゝとゝ見てからゝゝとよわてこゝ

つゝれゝ世侍おき給よ世ゝあを引ゝ世給よ

ゝゝるゝをなくていゝ侍ゝゝ花ゝひゝつゝあき

てゝておゝて給世君いゝてつゝ見ゝをかゝわを

しわこゝあわゝなくいゝゝ花ゝゝて世ゝ

わわいゝゝはゝまいわてゝゝまこゝるゝあゝわ

いゝていひいてんゝゝゝるゝかゝよゝちゝ見ゝあゝ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
24 / 82

Nagoya University Library

君ゐてあるとちたのみハ夜一よ立てぬと
よとわうちいさ給つるそいとらわなをつき
ハさ絶よようそをわつるんとたハ海
らまいていなるめんを給をむかねてた
そうきハ心そをうるおまへまいるよしし
あるそわをるをしめるとおりゐ給ハすんと
おりゐ給をそ氏宮ハひいとわつりくを
をとハ又給ん是ハ迄きこていすん公の
中ハさそんきうやなるおかをとハへをりて
まハをていそハ又給わんへいとあゆくを日

かんをていゐ給かをとよそうなくわを給よそわ
ゐそをとをあるふをとをそかを給をんと
なをハわハをそをるをとハをきををる
みて給をそとをつをちひわる給とをへりを
ををおきをあわ給をなをををて給を
なかををよをそて給をまん心うくこをうをを
をうまつを給わていかくうをそをすを給
なんやをとわたりまきんをなふをへていたき
ハををよををまハを給ををなわをかひなくかをと
ををわををきゐを給をををなきハををきをなをを

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
100060217
25 / 82

Nagoya University Library

さきつゝしいとくおうゆわいつらもく
まうなんとすうちなゝ君いとくおうて
こよ三わそらんとそたりたさいとあさまう山
ひしかゝめすなまえいとこうろうくおふうちよ
いというゝゝなるえそ面ありさ面よすくめるそ
いゝいゝんかゝなくわゝ花こうへたそせまゝハ
伊夏よ陸乎をおくうためんせまゝやハとて
いうゝうるきこめへけまとわよ伊毛とい
みきまゝてといへとかうかゝ心のいうう
あさまゝきよゝハさたくをうせるれハさこ

そハおかすゝ沈んゝ心ゝをのゝ立まつる
めくくハいうよう毛きかんゝれそハまゝすか
くゝやうよあゝんをみて心こまわすたふ
人ハあわちんや伊のきこあゝて小乃方いるま
給りんわふてさゝんんのゝたゝ三ゝハこて
よをおいゝしゝをめをゝて小乃しと
鳥り立面へされて伊く鳥ひてるれてまわ
さゝんかゝまんかくすいたれおゝまよハつて
乃せよをゝくをなゝせ立面ゝんかくすをよ
よたゝ面さゝかくすこ沈ゝ人立ゝまた給

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
26 / 82

Nagoya University Library

下にひさしまつる給ふの心ゐいとあか
ゐあるせきこゝ給よいあるよやといとおもる
しういひわるわれゐ久ゐるとこゝゝやう
れゐきゝしれらんせよいおゐなけくゝも
ひあるゝゝ下れゐきゝひろゝ下ゐ下まつれも
うつゐなるゝゝゑゑゐゝゝゝかくのゝあゐ
いなきやむゝゝるひゝゝかゝゝわハ
いまゐゐ行ふゝゝゐまゝるゐ
とあゐゐれといゝ心ちあゝゝ下れゐすなゝ
あゝゝかへゐゝゝかくいゝ下や心ゐきなくゝゐなよ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゐ心ハかゐわなくあいるくゝゐ
きゝなくゝゐゝきゝゝなゝゝと見ゝゝハいまゐく
さゐれゝいゝゝゝのゝゝゝゝなくゐゐんおまへよハいゝる
やゝゝゝゝゝゝゝゝゝおゐれゝゝ給ゝゝのきゝゝゝゝゐ
ゝゝさなゝゝゝなんいゝゝゝゝゝゝゝゝれゐゐゝき
ゝゝみきゝゝといへゐゝ女侍の君よかくゐんゝゝゝゝの
きゝゝ我ゝいゝゝゝのゝゝゝおゝゝんやハゝゝかのき
ゐゝゝゝいゝゝゝゝと思ゐわつゝなゝゐわなゝん
とあゝれよおゐゝゝゝゝゐるまゝゝゐれゐゝゝゝ給なゝ
ハまゝまいゝゝわゐなゝゐるれゝゝれのいゝおゝ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
100660217
27 / 82

Nagoya University Library

さハきちわさよ

こゝろくしおりかゆるゆくかゝ

いとこけてのもみゆるゝ紅よ

こゝもとなとあり立ちて紅葉ひ

ゝよれかへりなくハ見んるわなんいまハゝ

おかせゝれ心きいとなりけよなんみて

ゝ給ハするとハへてあこ紅るをこゝとハと

いへとをいゝよ思ひて給ゝむとおふよつゝう

ゝきくわ見ゝてかへりとかくへゝおれね

をゝゝあをひきかつゝてゝわ実とつ見

てあこ紅かへりとかくれるゝハれんゝつをと

めやゝよくゝゝなるれゝきゝてなんれかへて

ゝをゝていゝなりけよハなとゝいつりかゝみっ

ハえゝくさゝて給ゝんをりけなくゝ

うゝわやゝくのまゝむとかゝておつゝちて紅

ゝんをてゝまをてゝふれていゝくゝれてをの

ゝくいちへきをりかをむをよつゝゝたりひ

ゝわつゝよけのかをゝんゝゝをみてりふ

扨あこ紅をゝをゝゝわゝゝいをあをへきゝ人を

る紅をゝ心をゝつをちゝよなゝてゝちいつゝお

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
28 / 82

Nagoya University Library

き一所のちぎりをむすびくわてひやうぶ本
ゝなけれども三位ゝひろまんがるまいとも
ぎるゑしゝ君はものしたりてゝまつるを
おきなをさんと云きおうゝまつきをおも
てあみてゝをゝけなるまてれ沈もちるを
きをへていとたうあをれまてれゝかゝろ
しまとおゝなくしうにくろへと心ちあゝて
ゝゝまよまねは公君はゝゝゝれまてう
ゝをゝ屏へぎるゝ君のれものなわゝかゝを
なゝなんまゝやうゝうゝけなわゝるれをま

をもりこまへゝゝまうゝゝとい云てれゝ云
てまくゝかをよをくかくおゝるよなわゝをよ
なわ一人いゝれゝちゝつまはおりあゝむと
てかゝゝなくゝをきこゝうゝまもれ伝
ゝ仮はゝゝうゝをへをゝゝをゝてみゝゝまゝ
まひゝんをゝてをゝゝ屏のゝゝゝ云ゝわれ
ていゝきゝけなるこゝわをもの云ゝをもを
ゝゝをいゝゝこのゝ云てゝまつるゝてをいゝな
をくゝう伝をゝもまこゝゝゝ人ゝ伝ゝて
ゝてあゝゝをいゝはやんゝいへをかつゝゝゝ伝と

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
29 / 82

Nagoya University Library

こゝろひとへたゞやうてみむとをもふわ
くをひつゝよあそれよりきゝひつゝたの
ハこゝろれりたよりすゝせわ〳〵を変えわて
みをゝて作わゝていとかうゝうゝたよか
ゝよゝ三ゝやくゝ御本てひゝそいゝへうゝ光る
いゝゝせんゝれよかゝきゝれこゝわ物もいゝゝたた
をおりむまゝりてたゝゝわゝゝ宮ゝへゝ名
ゝいまハいつゝのわゝゝめゝよわゝわゝるゝわゝゝや
ゝゝこゝなるゝゝゝてゝゝ光作めゝつゝき人
ゝかゝるゝゝへよゝこゝゝよゝの絵へきゝ本てい

こつゝてハこゝゝわ物ゝへのゝゝゝゝるひなた
よハゝゝゝ作ゝゝと思作わてなんゝへき
や作るゝ面ゝゝてんやおゝしハあやゝゝ変る
ゝゝこゝへゝてなんゝゝゝかたてわゝれ
ゝゝゝ作き絵ゝめゝていゝ心うゝゝなむ絵
ゝれ作もくゝなゝの絵ゝんこゝわゝへきゝゝつ
ゝて光ゝつゝあゝゝ作ゝをゝゝゝんゝてゝ
ゝるなわゝゝゝゝめゝ絵ゝゝん本てゝて
まつゝゝてこゝんゝゝゝゝなゝゝゝゝ
ゝいゝゝきゝゝこゝかゝわなゝゝわいてゝゝゝ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
30 / 82

Nagoya University Library

さてまゐる木丁のえしてきおろすよ
君たちはれていまとゝまつをつせゐたる
つうゝてたかゆきハおくきたくるうたかく給
りんよなよゝをゝ給やうてゝゐて給ねこゝひ
ハてゐをいゝかうてゝゐしきぬ元へを
あきてきいつ人心ちゝ給ておこしつまき
ゝ所ゐてゐひやこゝひハ時ゝれゝへゝふ
いゝせよなゝあるまゝうたかく給てゐつかゝ
らむふ程よ夜をあゐれゝゐゐあわゝ
とゝせをハゐあをやゝてきりまてゐへれて

あこゝをゝてうをゝゆハゝてまゐんと思てゐ
ゐやかゝハまゝとおりへとおゝるこゝをたゝし
まきねてゝゆをよゝまとたりへといゝてか
をゝゐゐをちてゝのこしたちなんへをゐゝん
てきふわゝてゐよこまわてまおへゝゐかゆ
くてせんと思てなんゐてかゝゝをこゝゐへ
てハをきかゝなゝやうわゝをこゝゐへと
ハへてあるハゝおゝ心ハゝゝをゝふゝハと
おゝさゝゝせ給をむまをうよハゐをこゝあゝむと
ハへをかへて給をむよハゝとゝゐてゐをゝゐむ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
31 / 82

Nagoya University Library

小ぢかくこゝきよろしゝとみてかくこゝなるへ
いしをあなてゝらるをはこうしてめこ
しゝをへといへてさよくとひてかこをわわな
てはみゝわよへて引かくゝてをていたてゆう
よれくゆいとよくゝてをてこゝゝてたゝける
るれそい色ゝゝえあわをゆてうたまいんと
をゝゝえあわきてれかくうていたくめてさ
うをゝいうあゝむこうれかこのをうりてきて
れまへまいゝむゝてかゝいくゝなゝあ
わゝわ女君いらをなゝゝと思りまへを

あこたいゝきすけよそうをたていゝきよな
よさうゝておひゆるゝうかなてまいるうゝ
ろてかををなここをわあまわていゝおう
ゝなわとをちてきを見をるひかし
はまいゝてやあゝむするゝをわゝてまい
るを女侍の君をゆゝうていとくゝあな
よとの給えをとのへをものをゝてあ
なつたゝこ君おたるひてれさうをくゝるひあ
車はあわやとゝをむまふのとよ行とせをいて
まひなんゝするよいゝきよなてれゆまいりわ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
32 / 82

Nagoya University Library

御てうつゝわらはまいりてあやうひる
しときゝて初よりわいとたかき世君はいとあや
うはかりとおもふへきをあはこうしろ
さへさはうあらねやそらいて給なんと
世君のうれはしきをえんをまんやうとうつし
給ていとくかなわなくおもはまさわていとあて
きとたかゆうなとまうまいりてゐて給ぬ
よさこはこの日の夜るきていさほとせんこをも
りちねはかりまいるわさをかるとおふよみふへ
きかるをる給ていはをこの人へるとかくいとう

きてうきこえさせわ物を給をせわる
むろこひきこえさするみあやとはおやさる
へ給とこよをもりちねなんいとあやきさうよ
てようゐうまてへきこえる物なと給めへくいすに
きこせよ面うしたなんこゝろあるを給をて
宮十九日の夜のをとうあるなん給るされ給の
をこはこゝろ給へきこえていうをいさうの人さ
けなんとこゝろ給をむうわつをていと
かこうろく給とをのこきこえさするまに
をてわ院つの人御をとうわをいま

Nagoya University Library

上所にハなを戒窓でまよかゝと
そへるかゝとハいゝたらまし
こあきそふなん所かへて
ネをさゝめかゝとみてハ春かゝを
てうなくうたるこゝろかちゝき
いとおゝゝよかきふれたいとおゝゝゝこゝろへ
ゆゝゝきを心ゝあとかなわあこ紀も
とよハたを今いをわむゝめゝ今れかをわハ
あれよたりむきこゝて世こし作ゝねむすめ
よをそてまゝむネをゝハりやてゝたち

りたきてゝへそてまゝむとおりひてさ紀
くをれむゝすれしわゝわ給をあそゝゝを
きこゆまをのをいとをゝなるハゝをくゝひ
ゝへそゝいゝんさうそてまたるあるゝやう
宮つゝひする人ハかやゝ今をのゝなゝよりゝるを
なきゝハきてハそのまさわつるネよな紀を
いとゝんゝゝきをいとあやきこ夏ハゆゝをハま
ゝてをてまつるをのゝくりちねなをめよハれむこ
とわゝたまひて三日のまゝゝ之をすふゝまをんやゝ
よハそてをハめんをかるハと窓ゝくなん行夏し

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
34 / 82

Nagoya University Library

なをうきをまへとにたのすをやうたくをもう
といへをうくいまをそうかくるゆをいたうまつう
むとふとをのりくをうかくるよいとうをて君よ
ゑをせをまつれをうちねはなをうをうをこひつる
うとのをへをうちをこをなをあるやうあわを
なんとをきこゆをていのいとたくをなるををうはをさ
うふをとにたけるわおかたなるををくるをよをいめ
いををかこををへをくるわるをもの所をみをいと
くをくをくなんをこををわくるこをよをむはをくたっ
し紀所ををりちわをまくるむとたりをむを

とわをよろつをよるる物をわなを所をくるをむいくをを
日やうくをくをかくるををうをやをくるを所をを変
かをわなををちわやををんをなふかををおを
こおかをくを所をををてかうをうひつをおををわう
をてをこをとをのをにををるはいつをまをてを
るををあるをむをををうちわをくをををはをちち
をををくををちいををやをたをうをををををを
なわをををはををてをうをのをへをを走をはを紀を
をふを所をやあをくをむ心をくをちおをといへを
所いたうをるををていをくはをけををわをまを

Nagoya University Library

色ゝハてへてきこえさせたまふなと
とゝろこいやまつたゝつてう出てもの
つきこゝろ出て君よまいるくらうな
るまゝよ而いとあやすくよわゝさいつ
くもあるゝよサ條そちを紀よかゝらひ給くちた
しうかこゝろハえいくまゝうゆんまこゝろあのよ
とつゝえハかゝなくいとおゝくゝを作むゝ
さ作是とあやまくまなる而いゝハせんこゝろ
つをこゝわなゝえゝあゝゆんゝるハをゝをゝよ
えものせゝ勢ゆへとゝて久ゝ出いとくゝゝなわ

さゝゝとてかいゝふ作ゝうまいまこうんと三作ゝ
かゝとよかゝうゝわるゝめ出てなんこゝろつつをよ
あゝねとをゝろゝおゝかよなゝてゝちゝを紀し
ゝゝいまを而いゝん君たりまゝんゝと作ゝかと
よかゝる而なれをゝくちたゝとなけを世をまふと
ハへまかゝ出ていゝうゝくちゝゝと思ハてを
ちゝを紀ゝを色ゝよハてやゝゝとゝゝ寺蔓をゝる
をいゝとゝゝきゝれ心ゝ作ゝまゝゝあの出ゝゝよ究
ゝてへきゝゝを色ゝあゝ作ゝれゝつゝハなゝつゝこゝち
のゝ紀ゝよゝうんゝとゝゝまゝあゝをゝかゝゝあやゝち

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
36 / 82

Nagoya University Library

しいてかるやうあるをやさてをもうへいこよ
ひこさうむとかくて君ゐれをよハさて
をよあるうたれオしとおりふわう神ゐ
ゆきてめくるとひの雨かる
とあわとてをてまいてをうかといぬの時を
てこうあへしゆへうとしてえ給てきこいとあて
きとたをかしうわてちてたうとてなるあを
をえまていみしうくをて雨りるハくこよ
ひハ三日ゐたなわくるををのてて先すを
ゐあうおふらんいとくたう雨ハいやまさわ

よ雨さきをておりをわひてつ庭えつきて三て
しわわまへてをてちて九うわなとおりへ
てうちなけきてあてハサ條をてしわるれい
くうてやいうやせんとするかちうあわてい
ひなくさ先作むとて戸せて君さうてわを
といんこゐふうきてとりをむていとよう伯
なわとてせておかるさをとつまうくよきあ
あさてこんとていてるあをちてきかさりめ
よあわくあこたかくいてうちふもをていた
ゐしとなくくかるまにあいうやうるゐ雨や

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
37 / 82

Nagoya University Library

とてもかてて君をつゝみたまとかくハかゝて
とゝのへてなをよろつゝうれゝおぼゆるを
元はかるといへてもわてまこゝるとこのむすめに
いてまてうハたゝるゝむとてつゝうてゝひを
ゝへまたこゝ君ハてゝこゝろきこゆて元とかさねを
きまひていとかてうゝこゝ引ほまてゝてちてきと
てゝゝかゝわゝゝてたかてこゝかゝわゝてかと
をみてくよあゝさをまひていとこのゝ元てゝゝまひ
ぬゝゝやゝまてわゝかくしてちあゝ知をゝろ
ほひたてするかとゝまゝおりてあまゝ少とを

をてこうちきわゝよゝゝあひぬいゝをせ
てゝ知こうちなまてゝをあゝとかくゝをかくゝて
てゝをてかさをてゝかゝゝゝてゆゝてさう知も
こゝまゝるをゝとゝをこてゝまわとまれゝてか
ゝをありまゝよゝなゝゝかゝゝわいくハゝゝゝき
あわゝこゝへゝといへてわゝゝくてこてゝあゆを
ゝまわてゝてまを少をうちかゝてゝくく
あゝとをいとこてゝあゝ人よハあゝぬなゝをゝとと
いへてまうゝゝこゝあゝ人ハあゝこてゝくゝて作ゝ
をゝといきてくるまゝよかくゝてゝるハなゝて作まと

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
38 / 82

Nagoya University Library

てかさをかうくとうていくそのいとおかるう
へよかくまわわねまちうちをやるる人さけて
こうかさをさしかくしてかをかくよいなそて
いきてくるまよおかさをりかきあてかさ
よつそくそうへよをひそる火をうちあた
てみてそめきたわそまつきへう
なふ光のわいくよそなとくちくよひて
たそめをそちてをんのかをうたそする
なをわ戒をくんきのをうとなむてやらあ
ふとおりひつるよそをよわ原戒あちあ

よへとはをわつるそおりわ原をなそそ
あそわかるえてそひ給あそしたわあ
そなんそはきふわいとくていたそそて
中くうとまれるんこうふまへそちそた
わあくかるあ面よかくたそきそへ
作心さをたかさんへさかうあをふ
なそそきはそまむてんねいとこなる
そねくさたいとちりをたりきなん
といへそかそうこうあたふはて
おもちてゆちんとおかしみ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
39 / 82

Nagoya University Library

たゝぬかとかうしてあゝさせていはせまひ
ぬきちえ紀つさうしてまつえいとてれあ
すもゝ次又きちたしあゝひあゝつきこえん
いうゝえこくおきよきちくかゝむよかつは
なんこてまわてあゝあきこきあゝよいとゝやう
ゝるゝよかゝなゝへしゝこゝをまふてかうゝ思ひ
やゝよきゝいえもまふ女君こゝよえむこあをたゝし
と思ふハあゝてたゝ大かゝきこゝいていハいゝよふあ
かゝこゝ俗をん色の中ゝゝへてうたゝす思ゝ
まてうち泣てちゝまえはあこたゝ思まうけ

ゝるゝえむなゝゝよ思ておまへよわあゝえし
ておきてなしれかうゝゝなゝてわえし
てあゝとゝゝきふゝえゝたゝうゝ川あ
ゝふわをへたゝしうゝたゝるゝわなかち
よわおゝふるめはと思よのてきあえし
なゝこと二つなくていかくハあ思ゝ場
きまへるゝとゝこゝは思ゝこれなわかんたう
なりしとわえむつるゝゝゝたくはをゝたゝ
よあゝてきつゝふ思てつちたきゝわ
ゝてあゝきゝまへゝを女君ゝゝたゝとわてゝを

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫「おちくぼ」
10060217
40 / 82

Nagoya University Library

奉りて、作りむとせし世を給り
世をのべる所よりわるてかくるをあらし
てきこえわたりてゆくとかさいるたのくるてあら
ゆんとてかいさこうわはは上神のよこ〜ぬ重さるを
おとこ君こさわつるをおりひをまと衣まて
なよとをおりへるさ面の神をん
こうのべて女君
ネをつ引両ウ三度くなるへ
このへてこよむ元ネを引るたいかたう
つよとてとてゆるわあこたこうりちいを

箱のもこよたうとわなてまりてこ
ま出ハてといへて君ハと神ることてたき
のをねてなをこよひちん世をてさこゆ
ハてなてとてかりりるて見あるをまふ
ちわをおううて三れてサ作るれかくたう
うこ三むかくてまつるとたりふをたして
たうをちわよてあゆれくうやうあわとふう
するこうのへてあこきまるやハ三て世給をめて
ア世ていうむとわあるよハふわさうハとのへ
てこてこうとてこうとてハとまなくてあなる

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
41 / 82

Nagoya University Library

世ハいくつとうまへてそれハ心よそハとて
うゐぬこれまいれと世君よのまへとそちてさ
いふ侍ハとこかうよこくいて義人サ格もか
くやくいとうのへてさこそハといひてわち
ア夜ものめ思て祈ぬそちて紀か
アいきこれそまこ三とこよかわまわてぬちわ
そこハなくやあアてむかくぬ重そそるさと
いへて三の元てうちかたのすいひてわぬ
うそわうハ心さこハいまをむこをわこと
ひなことハ思ひそをぬやといへてようろ

しわなんとなかあうぬそれをようろ
しきハと世ハたかけちきこそそれいそ
三くつこ紀ハ心のハこくもみそふをそわ
ハよいよいこきこてのふてんなといへてまい
うをのうかこ阪よをものいるなといひて祈ぬ
まをやるこよをたを世ここまかそいこ
うまなといひ祈よ祈ぬ夜こんをぬ重そい
そくあをて紀ぬいてうかへこんうまへる
祈よあこ紀いとくたきわさかる石山よて
を久ハかへアたりめむ人をそそを

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫「おちくぼ」
10060217
42 / 82

Nagoya University Library

くもとおろふをこつ心なくてゆゆしう
ぢなとたりふよいそきあわゝをそらふ
なとかくつ心なくいはあわきそまふといへと
いゝはかりもなき所よりをとこまつ
ゝふれて人やまとくるとてさるにあわき
そゝとゝりあり車とわよやきやなりあと
いてなんとのそまふ程よ石山の人れしと
てかへりたゝねあるようなをわとてゝ給
ゝなわぬ女かくゝふれをなに所よりして
くもいうよりんとむ〇にあきまていとおそろし

あこにをいとあてゝたゆゆをいふき
ゝけてかゆまいをしわはてうつまいをしそ
きあわくゝこゝろとゝるゝれをいまんをとわ
をかるとたふよいゝくく東よりわ給れを
にをてふかくあこにをとをのゝわをを
へてこやゝあけていつまをゝへを
人をたゝに仮かゝのをあをてよまわをれ
をけこうをる人ゝくゝゝをうちやをむよ
こゝこゝろやををおつむたゝ所よこねな
ををてんをわをゝをゝをゝをゝをゝ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
43 / 82

Nagoya University Library

を今なほいかてんとのまへて
心ちよはいとうきてきこえおひなりき
そなきをのさうへ仏つる初なりと宮仕て
えやうはてうつまいまとのそまふそちてあ
るく宮をなほおをのいてきよをはをはを
一所よりてある君くとひてかのこころき
こそおかくよかへてれそいまはねさぬをの
くをひるををたてはサ作の君ひなとと
のこきてしよいとと心よををたかては女君いの
なんとおか仮おと君をなさくまいら

す女君をこおきお給をはくれまうしてを
ちをなよいときこえけうてをせをれをふ
やうこうの日ろさをひはをとかくをろ
一なをやはをはるなをわの君のたをまは
をなわをわといへをうをきてきは心はをんむ
まのをるむをといふあるたをろしのすやを
をれをくわをかうをはるまをきこころふ
いをへるかをよをいいををのをはをまあ
ふのかをこなへをはのをうをあを給りかを
をはをこをあをとの給まあこはも君しいの

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
44 / 82

Nagoya University Library

よせんとわ元そまへたくえれあゝそまへ木丁
あゝのそつてをの元きかつてあいそらむと
ウまへてさうをしてそウきこえとらわるゝ
きしやうへたかうをなけをそ木丁ほうよ
そつよせて世君わまへ見ふウかくなとをそゝ
ハあゝほるそとうを元まへてゝふあてほをあいを
よ伊というをもてあることくなそう我い
をなとるきこ前まてうをウいを伊とウまへいあ
う君なをあゝとてあゝそをてあらかう
そつあゝてへまてほいわてみをてをいるうよ

きふけよをつひて木丁そて君しいとおう
ゝよこわほくろひて大かこいとかうてう言を
てあやくなわてなとこてウを伊をゝこ伊を
をいるつわを我るわほる程よこやあわ
つるとウまへておりてうちあるゝてなる変う
伊ゝというへふ世侍いつあるとゆうう
木丁のほころ元そわるなるゝゝ見そまへてを
ろきあやかいわをなとよるゝ孫かうひうた
りて元ゝうまて小ウかゝとみをそわくちほ
きあいさやうつゝてまうゝまうゝ元そるを

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おもくぼ」
10060217
45 / 82

Nagoya University Library

ほきふわきこけなわ名まゆ乃かよ
てをよけあ〜さを すこ〜いてゐわと見る
まいわふるやう ハ名ふてよかいをるかみ乃
たゝけなるよこの御をこのいわめくみて
〜ふそ〜をまへときこゝんとてなんようて
へなわとゆまへていとかうゝろやてをめ〜
まへていとよくなんさハまへて元きこ殿て
そてまつまもまへまうちほ〜て我もまつる
いをまへまを〜入をしてかこれをのをもかい
を乃かをこのをこやうよ今の世乃まさをそて

さうよかくせ祢よてをなをてまへてあこ紀
いとみをくゝとをて以御かゝえ乃をこを
なくてやといへをいまほこゝ光て奉むて
をち給いとゝろゆきこゝろ海よてかの木て
いつこのをいときこけなわきいよに物りあわ
れをきほきふわと乃まへて世君いるこく
らんとをつゝなくてあ〜紀をゐわよやま
伯と夢ゆなをこを紀をうかゝく思給ま
るのちまあこ紀ま光やるハ行〜くをて伯を
奉ま給をんてをそなをゝ光りを世まへる御

てうこをかくのをこうせまつるようたくの
れむことわはたくてそこをとそやう
ゆとわをしめてとわ給てこ戒をめこを
のやうてそこゆちこてたこまれこ
たをそこにぶよきことわ給てきこいまこのよ
をいてきこなんこのれかこの物はこみるまこに
れかこくのをのよのを成をてねかく心をのろを
たりこまをこをこのれ心さこやはみゆるところ
をちみをれを世君たこてさいまをいつれも
くようをてこなをこひてんといこゆをはまこ

らこきこゆふ不てたこやをていて世君を
きこ入てまこわこうこをのこひるはむて世
こをこまをやはをるこのゆへてさをあこ次
みるたこをよなんたりこあゆるあやこう見
をこうてをみをゆるかるきこれをていうは
のを給をんとふをこうこうちこけをるをみるま
こいたこけるまをなをあこをて於を
やをるまこはと思かをんのをこのかをわこ世
あこ君とふわこはこてこをこわくろめをの
をこの五ををわなをるゆまをさはこをんをわ

Nagoya University Library
名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
47 / 82

Nagoya University Library

まゝ者共たちまちひゝ所くゝとけうるをこ
きくろ氏とうるゝにたゝていときこゝたなわと
ウ人へたゝとわゝむゝてにかゝ入てみるよ
こるゝれゝいゝてあるゝくゝなくいまゝを
ゝゝせゝへきいとうゝてけゝ御ゝきこゆゝて
さいきないひゝて給ゝわぬゝいとよう行わと
てにゝむやゝつ女侍ゝわゝゝ見給ていで
かゝゝこゝいの物ゝ見いて給にゝたいゝ西
へゝるゝをのゝさゝるゝまかゝうゝて世ゝなきし
ウをかゝうゝとわゝむゝゝまゝあゝぬをて

いゝてゝのひぬ女君おゝ見ゝまひゝあいゝうゝてか
くゝちかゝゝてハ三にゝて木てゝていとう
きゝゝれとウ給あこ見ゝうゝて行なゝわゝ
ゝきこゆたさゝるきこ心ちゝをあゝむゝよゝぬこ
とゝいゝてゝゝをあゝてゝにゝうゝゝてけゝう
ゝわゝとにゝゝひあわとゝゝふゝゝちゝ見ゝか
ゝゝわゝゝゝをゝかゝわていとあゝしゝて御
心なくハ初ゝくゝたゝゝおゝゝうゝる世ゝにた
うきゝかゝんとふゝう乃和ハうちゝまゝわ給
て元たゝ世ゝつゝゝゝれゝをあゝゝへハう

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
48 / 82

Nagoya University Library

ちまいはてなんえまいわうゑなわういう
よあこたこきなわよかんをうゝ信々むとた
しいやはーをたうゝうそさうるさいをうを
なうむうるようとなふまをおそろゝうなん
こゝひいむゝいをのをとろん
そうてそそうのいうゝををうゝを
一をへうゝるることをかうゝき、
つまゝきこと乃ゝをおかうたかうれをめるをせい
そうきめゝゝや心やすき所うゝ見てんとゝ
まやうよきこうそをとまへはかへうをやゝてを

てまいうむとをちいきこゝゆれををあ
たれてりうゝかからわゝてをいあへきゝ乃
ろきゝまゝよそいさうそをとふゝんいまゝ
きゝをうゝ

一てちゝおふふ心いなわ空

いうゝたをそわくかうゝるき、

誠うゝうたをいかゝをわゝをふやうゝて
かゝくなんあこたいたをあゝむゝんいたち給あゝ
うをんはとあうををちていつをかゝゝよ義人サ
侍まつめ侍とふめをゝをえおたあへてあと

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
49 / 82

Nagoya University Library

ところよさゝへて　まいりとゝのはれゑんまゝう
せ給えんとてなわくわれうゝをまいりと
て君をうつゝ申　秋をうつゝ申ゝるかと
よゝもとゝろなるゑ　乃たちゆゑを元ら
ゆゝか修羅ゝ　をまひて　とゝわ給つゆ
ゑんかさて〳〵いわ給よいとたゝ〳〵れを元の
君よこれ見のゑへこれなわのたゝ〳〵わつゝを
とて〳〵まつわ給て　いとたゝ〳〵れの
ゆゝおちくゝ乃君乃　て　とゝのゑゝ乃修ゝ
れをゝふあゆゝの人乃名さゝふ人をゝの

ゆゝ人をとて　やゝゝあ三君ゝゝをとわ給て
あゆゝとおゝをわゝまゝをゝちを見れゆゝ
ゝのてうとゝわゝ見て　をつとてゝうく
ゝゝなゝ　心さを見てゝちわゝゝゝ元日ゝと
きてゝゝゝむをとゝをゝる　れをいゝ　ゆゝ
ゝんゝ思ひゝあゝゝ　てゝゝわゝゝわゝゝあ
ゝゝゝをおつゝをこゝゝゝあゝゝゝんゝて　れま
をまつゝわあゝて　ゝゝゝんゝをいつこゝゝあゝん
人やゝわつゝむいゝゝゝゝゝ　ゝゝ元ゝんとおゝ元ゝゝ
ゝてつゝ元をつきてゝゝきてゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
50 / 82

Nagoya University Library

侍ハ侍ルテ見給テなとこれなわ志見やきる
ゐを乃やうなひるるとてわゐ之給よひ
君とわかゐ〳〵まへるなゐをとなふよ志ぬ
ゐこちよいとわをとなるゐ〳〵きこえていゐ
て給をわ侍らんと尸せて我ハ志ゐ侍姫君
てて志の松山といひつめれとていそのぬいて
むかゐなくてあ乃君とおきちんとをつし
ゐしといゐせんとてあこ紀ゐとよいきて
あわつる御返ケつゐまゐ〳〵むよりてまゐ
むゐていて侍るかとよ志ゐ之ゐて見えん

ゐせまへるかゐ〳〵よかゐてこゐれえてまつわぬ
いとゐうゐてとあきまをあらぬゐ〳〵きよ
ていへてあこ紀いといゐ紀幸かるいなる
のゐあいてこえんとてゐむいとゐ〳〵ゐこ乃御
かゐこゐ〳〵きあわとうたゐむ給をのをいうよさ
ゐう毛給ちんとてんとゐまをあせよゐわて
いとおゐかゐこ乃君このゐををふめかゐよ志ゐ
くゐてあわつるとてみせをてまゐまへさ
れをよゐ〳〵きあわとえつをれるんのをちを紀
うてむまやあんそゐわゐらむきむうん

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
51 / 82

Nagoya University Library

といひうるまでもあるべきものといふべ
たちこあるべきとこの物をいとくちおしき
わさうるおとこいてきこうてせよあし
むへてんなるていハ大章なわよたあこそち
乃ほうむへとそをきこうわほうるものをいっ
なるめをへ乃かうわさをたいてつむまこ
たよいとかくしまとりん物をしゆをほ
ををををてををきこをみるよへをいひさかねを
あやうおふ女君よハ河内をハかうくしほわ
よをわたりてをつをきやうをまとほうる

やうよれをまかををして給ををむといへて君い
とわをしとおりひまつわとハをろう成ふの方
をそを給つをむとおふよこちをほうてを
をそをきこいまとなけきこふと限てをし
をちてをたいをおしてせ将の君乃ほへまを
をまををほこをわかをれめををたりぬかへ
をハなと給ハをわほるこ乃まへをふの方たりつる
程よこのまふてれこのこをわめをとなくあけを
れをいてまよをすをたへくをさをををれをい
てのハてかつをいをまふてをををまあこを

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
52 / 82

Nagoya University Library

きいの方にをいきいめいあわを女侍きとをつうよ
ゐーゐひて物かるわー給て四君はいをたが
きをようなわゐわるとのまへて十三四の方とよ
てたくをなわといへて女侍まてをゐあるん
まろよあをせんなと仲絵てのゐのなるとを
をのをなる人をををこのなる人をををて仏をを
わてきて少のかをきいをてをなん乃給て地
乃となる人ををまをたせのーかるをきこて
ゐへといをんよいくたかをこのゐへを心うーとこ
をはたりををとの給こーをれをらうーを通

ひてこをはえんーうあわををを人をるき心ち
するをわーををまつむ所よたをーなんやを
乃ゐへをは心よををはと乃ゐへををををる
とのゐひてゐへまかとハ十一月廿三日わ
三乃君のおをこ乃義人女侍よををまんー
乃まはをのまを人へよををゐひをれをふ乃方
てまをひー給あこを紀ろんなをれあひをのも
ゐきこなんを乃をうとむねつゐををををる
ゑ乃をを仏をちてこをのををはゐめをせゐへ
所めひをのいてきをんきこをゐふとふ君はを

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
53 / 82

Nagoya University Library

丁ウちよ申しまへきてあこ犯そいらまる
いうなるよつよへちわちるやませまてうちやまま
せまへアいまお犯させ給なんと犯り宮さ
せんといへそ侍ウむうへりぬ世君めそんとて
き給まろひとわいそ侍そくとふいそそん
とておうそてまし侍アい給そ侍ぬ乃そこいうう
めひ給つやとうむそ申そまへそさそあらまきこそ
のこりわとあこ犯ウア侍るハといへそ小の方
るそウ御ごのこもわそをのひしら侍なま
つきらと元とつくちまなそふハきてまるく

あるわうくしウ乃をる祢や三ウ乃ウ乃ウ
めそていと心うを犯そうちあさわらむふ
きるかさ犯そちてしていまし犯そおろさ
て木丁のとよいてめえきそうへ乃そ侍を
めそてを犯さわを犯あうなわて年を
そよ申しさわを乃ハまハいてきめんとそ
おりむつきあや一うを乃ウふことそある
つきる犯ひころを心そわいてけさうて
わきわとハえんやと乃ウへそ世いとわむ
しういうまきて給そむとわきすをあらぬ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
54 / 82

Nagoya University Library

こちしてなやまし う侍つきてたちそ
のひてそこを はそいまいてきたんをの
ぢとて えき よとすきをおとろたむまのやう
まてちふを給そ人をねのをそうそそう
かうけかへなるく人よのをふハ山をこかさ
祢をそ今めひすを侍ハこすをるたそ
そとてそたちてなををてをちをまふ
よ女侍のなそのあとのかこまりいてうをを
ゆそえつをていてこのるをハつこのそ
とをちこまりてのをまへてあこたいと俺

しとおひて人のめ世そをてまつ侍へ
ゆとを世をまつかのの物をを侍てこのを
をちのよおりをのへるをそかくておをする
よかひるあるをそくくのの世をうちむつの
ていくうのてるたのくうみをるよたちて
のつるナすちそうわてををなわうちる
くれていとおこかまとと女侍ほくくとかいまを
ゆそうわ世あるまをあてをものをの女侍を
めのすををこうへてまつたを世とをきこ世む
きをのをむていのわねまくくなめひ侍を

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
55 / 82

Nagoya University Library

いまはうあるたてまつりまゐらせ人こゝ乃
ことゝもなそこのうゝこゝろハうゝやゝてる
いとゝ立人まつるこゝ乃まへくゝ世山なるまてこ
そハとゝふくゝうなわめまてかうゝおろさ
せてこうそいよ火と色ゝ世ていうまめひ
いてんとたゝふ程よゝ乃かゝめゝやゝとゝよ
みそたいまゝよゝわゝまへてめひのハ
うち詠てゝ火ハゝりてゝ人色なゝいわ
ゝよゝわとたゝふよたゝかゝまゝをちてお
ゝてゝこゝ乃おちくゝの君心あひゝやうな

くゝ見わつゝゝ元めまきこのいまゝてのまへゝ文かく
そゝわいそゝ色のをいつこなわゝ不てまゝあ
らんゝちゝらぬ色のまうゝてはひゝてゝ
へゝゝくゝするゝよこのまへゝをおゝくゝハちゝ
くたゝてゝ乃まへと乃ゝまへゝいゝへこゝてく
なわめまゝて殘乃ゝまゝきこゝてゝ世稀おちく
ゝ乃君とハきゝうゝこゝ元ゝてなゝ乃あそた
ちくゝハといへゝて世いみくゝをつゝくゝていさ
とゝゝゝゝ人乃名ゝいたつゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ人のまなんきゝくゝかゝぬへ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
56 / 82

かなしき小のかくこさいなまるゝちまをとゝさうる
くれたるしき給へきことゝもなし給けれ
うへのきこえたちておこせられ又なきくれそ
ぬふとおかしてよろしのをとおとゝきこ
えていみしての給へしとせめられてたりして
やましとぞ引あるまふよわの給やういるやこ
のおちくほ君のあちこまのまふことゝうした
りるまあしかんなるはあそおやきりんめれてい
みてよろしくたりそれすしつなとてそてなりて
めかたるわいるくまかゝのものためめてこて也

をのまて事もさらんやなまよかうてろそよのう
ちまぬひまて給ハことゝも見しこのたまへ
えしめいらへもせて侍まくとなきぬたとくさい
ひかゝてかへりのぬ人のきくまてつしまえちの
かきわいなれつるなをわきとさゝ色ぬるまもく
おりふまうていま思ぬる物すをかるとめひものハ
思えしやしやまて火のくるきかくこまむきてひと
しうるゝえ女侍あられしまことゝえをまてひるま
ゝまえつしとおりあらん我をうちなきて思
えし入事しまへをとて世をえて泣き入給事

Nagoya University Library
名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217

Nagoya University Library

よろづよいひろこさんたまふおちくぼの君と
八氏人の名をいひるなわ名我いひつるこ
といふよそつゝしとたゝみんといとたゝまき
そそそそあらぬ中納さんよりくいひ所る
かるいといふうおりひるるまそわぬれいう
てよくて見せそーかるとこ心ちよおか仮
ぶりかこたかくの物ともを見わハありそう
をそーうん元をもわハあひ出ーと思ひて
サ御そとてかるぬなる人のきよりるるいき
てしろうまめんてをこせうまきてき

いつこをりめひ伝ゝむなをりれこのこゝわよ
るるさそわをそゝむをものそゝきこえ
給をのをといへて心ちあゝれてなん
そのめひさゝるハおまめひるるとりへてさ
ひとせてめひてなをもゝうハおきこせのえ
うの方をおりゝ伝よとゝくいまちそを
ーてめハせんとてかうゝておりてわさを
いそうわサ侍みまをサ御そかうけよいときよ
けるわよ紀をのそあわ名れとえをまふな
君をうち見をこせれをいというう伝や

Nagoya University Library

の死るを見てあれやなをなんふ
やうきこゝさすきをこゝよ死やうまへわ
さアとてきこゝさを世祢をさゝ心をへあわと
をに三世給をとくちゝ行さよなんえさ
ら仮さきゝい仮るれかゝわをこの字は
れてゝをへを見まいゝすよたゝまゝ
まゝう仮をとを世乃伊のうをわゝハ
しう仮をつきうてなんへ三れぬ宮
つゝえを元仮ゝまゝめときこゝをを世
君さゝへき人をてゝよまこゝろなゝゝ死

をみてぬようきゝくをなひをひゝるかる
とゝくへをへをを幼言ゝよゝをあやゝうハ仮
きうへゝわあやゝうたをせんハをいのとれゝう
ゝうゝうんゝちゝへみつゝきこゝをハさゝる
ゝをいと心つきゝけをあをゝ仮さ面をかく
てたくゝたをゝまゝをてあハる死世乃
君をきこれむことゝわゝ給をんとまうゝなふ
ゝをれ心乃ゝこのれ心ままをてのへをゝ吹し
ふめてゝを死やゝれをゝゝわ給とのへを
左大伴このゝさうんの女伴こゝかゝちをいと

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
59 / 82

Nagoya University Library

きこえたてるうちよりハ伯なりて
ゆひなんとへくくかむみそも時ゆるおが
俗れめハなしいとよ紀人のれむこなりいて
こゝろわすれをかなと思ふとおそもゆるよ
の給てゆゝるこいうきよいを紀まめて四ゝ
君の御めゝとゝめこゝなりるへを言た
ゆるをよゝろこひのいまてさめ紀さを紀給
てまをやせのふめわといへたゝうゝ
くてをてといひていとゝ思をまをまく
ちつきゝ火のあゝ紀よをへてゝゆひをめ

ゝをつゝけなわ世侍ゝ君ハいゝふとき
見ゝまへをゝゝ俗よゝなわこやのまゝん
人ゝれよハを紀給といまよ侍ゝゝをく
いゝへまゝ紀れと神ゝかへゝてまへ
ゆ納をまゝうとゝをゝ給をれまへの紀
いとゝゝ紀よたをゝまゝ天ゝ紀をゝ
あをせゝをせゝまへゝといへをなをうゝる
をゝゝをき人ゝさるをハ思ひかくといへをい
てあをゝゝかをやなをかくハおゝせる紀
ゝつゝを給れゝくくハなゝくくといひをゝて

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
60 / 82

Nagoya University Library

まことに世乃なりゆきをつくさんとたゝ
まへる年の中将乃君よりいかゝ乃中将と
めるをそのこゝ乃よかのおとゝ君乃ゆるこよせ
侍と戸ハせ細をくゝいとこよ侍わとのゝたゝ
よまうわ侍ゝくゝか乃君を山このゝとゝ
て心つゝをしゝめへ戸きゝゆるちめなゝめゝ
さハけよをくゝをあゝとゝをみ侍しゝゆむ
すゝをんおかゝわたとゝゝしゝいゝとゝておかい
君よわゝゝ決てくゝりゝゝをひ宮ゝまひゝ
ゝゝかゝをゝつゝきこゝ侍よたまへ乃御う

へなゝ戸侍ゝくゝなんいとゝいたうあゝれゝ安
元給て我いと思ふ所よたゝよなるゝかゝるよ
ゆゆをゝ所ゝてんゆをゝ乃ゝひゝゝをかくいとあ
きこたゝゝまゝ決うちよゆゝを君なとたゝ
ゝゝ〇ゝを心かゝゝけよたゝゝてかゝるゝちゝ乃
ゝとおかゝゝかけてよと戸侍ゝゝを乃御
ゝゝたゝをゝねゝゝいと心くゝしくあゝれ
ゝゝゝゝん我かわよいとゝゝるやゝなゝゝん
女乃ゝのなゝを志ゝゝゝんゝかゝちたゝけゝゝ
むゝゝゝゝゝゝゝきゝてゝゝ光むゝたゝふ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
61 / 82

Nagoya University Library

ことよおとする宮ノ前をちまつアていち
てたてする人やおとすることろまを
てたてすむわいわこゝ物て我ころ
よすまをてまつるむなといこまやう引
きるまての給をせーうまいアてうちもか
ウすハうよれるとやをてまたるへきこの給
ををわーかゝたわあゝていまたるむ智
をんとドしといへをいへをーの今成
ゆる程よさうしわへをつねゝてこの蔓
穿んといへをいてゝわへたゝあまりい

てのへきこゆへれてゝちんあるといへをゝ
まてれをうをこゝ穿くさんゝて入ぬ行おへ
たるひたるうまつアゆんゝあむのへ行わ
つるをこゝウ蔓ゝて人まうてきゝれをん
きこゝゝをつるゝこの強りまいゝたゝうわ
えんよたゝうて物まんやうきこゝゝさ
をゆゝんうへよハかくたわ物あゝなきこゝさ
をゆゝをおゝろきさいるまん色のをさわぬ
へくハまうのゝうむゝておわぬサ保不丁を
ーゆわてたゝくを乃ゝゝくいひつるへ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
62 / 82

Nagoya University Library

かるかちをきすけなわとみ侍るかとう
かるの〜女房をかるもちとうとかぬきう世を
てまたわつるようをえまうくなわめしさ
を元いろへを面をてこなををこをを世をて
こころをなをよくちつくろををまへるる
侍るさうきしくをかひあるけいろへをあう
きしるををたりてきこをるをかうわをか
きをいとあやきこへうくせをるをひくく
うわやわたるうをつるやうるけきをくめを
みをうれのをりうるをうををるるよ

なわうをやうなるをそうをうちよわうく
一物をきこのるをきをいをたりことたおを
するハをいをあいなくをうーけをたりをの
をきへををいをあやーをおりををのをう給
侍なををのりの給をわうーう思ひたまへるこ
をををのーうきこのるうをへををおりさ
るるう京うちヨ女をふかうわかるの女房
めをきるいわなたをいをうやきーををと
うをきへを女君をうをぬ初をやあるむ
ををのをやをうをへを女房このをちいをん

Nagoya University Library

こゝちをけきく中宮をわはなわらひをん
やとの文とおさくさをえらぬとなれて
いらへ侍きのめひわえるてにきこちうたう
しなわあこたハサ物をあるとおりひてを
ちらたくこゝちあるうしたれてをもう
ひて入よるわちうさねをめいてうへ中宮
きめをんとしいてあこたおこさんとの給
へてサ侍ひくんとうふ世君見らてからん
とうらまとを不丁をこうかこををてたき
ヲてなを文くをせをまいみしたをのてそ

まろハとてむうひておらせ給いとにきるた
なるをうこゝてろちをひのようわすきて
いとさうらなわ世わるゝるくをる四の君のこ
とハ面をまてあり仁このをへておりんゆ
るれあるをちすうなわやとのたまをめ
くるをかこあゝサ侍うわゝをまうくん
時ハをおかやをちてうきんとわらぬわ
いうゝをけぬたり祝ごまひ祝と世むを
をまこなるわをやう祝をねあひをてん
よといへを文をわおきわ給をあうをて祝こ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
64 / 82

Nagoya University Library

まそめ程よふかくめて稀作むと
てうゝめたうて祝ゝつまわをるゝちゝれ
いかのいまゝかあるよわのそけハ世紀ハ色
こなゝゝ不丁をてゝれゝそてゝかゝわゝ
いるれて世こなゝめかゝようゝちをむゝて
もゝるをものをあるむゝひてひゝるたゝこあわ
な面稀ゝゝわつるめをさゝんおゝろゝてみを
てゝたゝきうちきゝかいゝきゝけなるかい稀て
かいとつやゝなゝる色ゝかさ祝ゝきゝなるま
たゝぬかあるハ世かをきゝるやうゝこ

しゝわたりよゝきゝかゝゝわ火かいとあゝた
かゝけよいゝゝまほゝうきゝけよわいゝやう
たきたゝけなわきゝなおをむゝる歳人
サ倍ゝわをまゝわていゝきゝけゝれて心を
ひぬたゝこゝをゝる〻〻ハみをゝゝ
きをかゝやあんゝゝおひたをゝよ
こをゝゝ稀よハあゝよかくてゝわゝひわて
めゝくをゝこゝるよするハたゝろゝの四さ
よハあゝいゝいゝきゝわゝうゝるゝなわて
秋ゝふハよハかゝふまゝきゝなゝてなを思

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
65 / 82

Nagoya University Library

身よりをうあひのことをたてまつりてはゐうてる
をたてまつりてきてをちあわせしてまろを
こうまよりをうこまをゐけよりありた
めわなをめひさしてる給てかうきい
つをうをてをへといへてをちまをてん
ゐっいとくうきなわてなをめよりあや
をくわて火をあふきんちつ世君いとわを
なきわさうるとわをよをてとふをうか
きてをてをかんをてまへをて手にうと
くんかんをてかきいくさぶしぬかうきて

をていとゐうとたふきいうをて
をといをつるハさんくわうをてきて
をるるやあるむよんをるるやあるむと神し
つをくとをておりふよゆきかをるけきる
をおをるやをてきをおりとかちハよう
さんくるをなと見るよんをるをて
いてやし給をんとあやうてなをてをちをん
よあひるるといをなしてをるちをへんハわ
ゐへやよこををんいてうをてををせをハを
をへきをいとゐをきまをよなををてかる

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
66 / 82

こ光さらんかとみたとこハ思ひわすれなん
我むちなるやうにてみさうし去てゝんやくせ
すゝまてうれまつし紀ゝ六十まてうわなるさます
かうこりしきこかう見んまハさせておほかたらむと
夜一よおりむあそむも志て少将あそむもよ
うちかたらひてあふめ走て出給ひめやうて
いそきこぬひかふつうれとみ小乃うこおこなひ
さすとえんしたまらしくハちあゆえわりも
しくめうむとたかりしてあひも乃さまへりて
こゝめらんといはせさせまへもていとうつらけよ

三かさねてはしられもかいるき心ちして
くちをしくいつよいて紀よふむとてやもぬ
少将乃御もとよわれるもあわいうそれとえ乃
めひきしものハてうきるこそちいてよやいとさ
御かしくきそさてつえわすもてきこよふわこ
あてるまへさくいまうち乃れあそもよまいる
なわとあわふよいとかうそしきこるえあわ侍く
えんてやるそくハふてかるよ人もしそきこふかうる
たかしいてうハとよう思もてなんあ光るる
ことさてまいるこもをわすれ給ふもて

Nagoya University Library

これをなをあるまでえんりる留行の
てなるゝるゝ所をたのへて
こゝあをて少将いとゝおとりひて
あゝなわとおりひ久るゝ留行乃
る代を祈をんゝあゝを
こなんあわ久るこゝ乃少将いてあゝするゝち
小乃かゝたゝよりふさるゝてきなんや
とおふを色ゝるゝこゝ乃おちくゝ乃君のやゝ
いゝゝたてゝゝわ久るゝいゝさは
すゝよゝゝるゝしるゝへるゝてこもかゝ衣

へきこゝいとゝてかゝそはなをと乃まをおゝた
とゝろきまゝひてなゝ寝ゝとこひゝまをこゝ乃
義人少将のかゝなるこゝをちを花といふゝあ月
こゝろあこ花よりむゝきゝ思ひつゝはゝやうさ
うゝみよゝちかゝるゝよ久わゝるゝ乃返すを
きゝる色乃ゝてゝるゝこゝろよ花てゝるゝわ久
ゝ乃をこの少将乃君のまゝよ行ゝゝわ久を
見ゝを給てゝゝゝき心をきゝる君ゝを
ゝゝとゝゝちを花よりひ世を給久をかゝゝて
ゝゝゝくゝとゝ久を花ていゝきゝけなるあひむこ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
68 / 82

Nagoya University Library

らわ給てくわるあるをゝ〜人のをきかん
もいゝいゝこれをすまを給うといゝそつか
〜くのの給くるとくり〜くすまて名れて
おいまへるかとよわハほまそきをいとちゝ
くゝうたまひていとりめひちきこそて
〜るかるかくておきをてみる人ハるのかと
たまるよ六位といへとくゝ人まるにあるて
つちゝをちを兄のゝうてをちをわうえハ
一すんをわなわかゝるてとハたいつへ〜やさ
るへきこすうあゝてちゝよかりてくれな

やんとたつる物を小ゝかゝうゝいとくちた
〜きことをゝかゝるふやうよハあまねくゝ
ゐさ兄よへやとこそてまゝせんなんるれ
ていてあむなんてさそかをたてこもかを
をゝまへといゝよゝなわゝいまをいをて
いきてきこゝへやあとこそてよをのるくを
うたかをこゝろ〜てよとおひかをてをめゝた
かくぬまをよゝまへて小ゝかゝうをゝとお
ひてきぬたゝうよをきあけておちくか
よいまゝてたいねまていとかひる兄わさを

Nagoya University Library

む給へるまゝ色ゐなりて身をよりておと
ゝ八うゝゝをゝうち給てこなたゝまなす
せをこくこめをたゝ我まをゝむゝ今
おひりてうんなんこのまつりいさまへとふよ
世あさまゝくわ記うかゝうてまゝな
きよるれてハゝよきてまひゝるゝんい
みとハをろゝなわあこなきひいてゝいう
なるゝをきこうめゝるをゝさよをあま
ち世さ勝まへるゝとおゝゝまゝめゝるものを
とゝ世ゝいてこのをきゝ記をわてなゝを

ていゝよゝをわ所ゝとよゝあゝむ我よハゝく
ゝへゝをてまへとおゝゝのゝをわきてのまふ
をまへていとあゝきをゝをゝねゝをゝゝわ
てわきをゝを思ふ君よまゝゝせんとおひつ
ゝるこうよるゝハいをゝうちよあゝをいき
まへたゝのゝまふゝとあわゝてきぬゝかゝをを
をきふをてゝゝちまへてあこ記なくをいゝ君
をゝゝさよわをまをあゝまをものゝちゝなゝら
よゝるをものゝむるやうよ神をゝらへさきゝう
をゝゝをたゝをを世をん色ゝあやのなゝゝなる

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
70 / 82

Nagoya University Library

ゑろきかゝゆのあきたり　あやゝゑとへき
てかとハこゝろゝしたゝろゑれていとうつ
ゝけるたゝよ五まそわあきわてゆゝ
きいくゝろていといらくたゝけなる
あこたゝをくわていうよゝなゝてまつわ
ろんとするよゝあゝむと思ふよめくゝこゝち
ゝてあゝてわゝてなゝゝこゝちをひとつ
ゆゝてゝち地ゝゝゝるをのもうゝゝむ君
ハあきゝをあゝ所おゝゝのゝゝゑゝ伊て
ゝゝあゝろゝゝとゝいゝゝてかゝゝてあ

ゝゝいゝよいまゝゝうゝゝむとめゝハゝや
こゝんゝゝわきハゝゝこゝゝゝてきゝひゝたゝ
こめゝ世ゝゝ心ゝゝとあゝゝをのゝゝまひゝゝ
たゝろゝゝわゝゝん*ゝよゝゝゝハゝたきん
ゝゝゝこゝゝゝゝゝゝゝゝゝあゝゝやゝゝすゝい
ゝなゝまゝこゝゝろゝゝへやゝゝゝゝあたみ
ひとゝゝくゝちゝゝとゝうゝゝゝきて我ゝゝを
心ゝゝするゝゝゝハゝゝるめみるゝゝゝゝいとあゝ
ゝゝよゝゝゝいゝてゝゝてゝゝゝゝゝやう
つゝくゝゝていあ君ゝゝゝゝをのゝゝく

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
71 / 82

まかひさるゝわむしくれていとあさましき
よハ後をいてやゝまくわかく侍れ給へとそ
其ことゝもきゝ侍おかつゝなくあやしあこきかる
りしいそてあそむとおもへとみてはいそうまろはく
れとそれをおもひてなくくうつましくらふ
のかくこおちくほにおろしていつるしのちこの
あわつるハあこきことふかくしやおわてなやう
取かへしてもわとのまふを忘らくこてよろして
おちて侍といへてきまうまえこひらうまこなる
わゝあくさんかゝわハあくまよてさしかるあてたそし

ぬるつと思ひていつしかこのことさんやくのすく
みかくるむとおもひて人まちまつあこきさしいる
さまていうしくかなしくれてなきやいてや
いるましとおもへと君のなわるてありんやう
をいをえんとていかなるさこ所まてたいすらん
とゆうしくれてこの君のれもとにむとへようち
をものことてまゐるいとをあさましくむわ侍ら
ぬてるよかわさいるみてまうて禄このまへ忠ハらや
侍人をくさし侍めることいとかなしくなん
いそてなをいましまをひまちてえんまちてまゐり給

Nagoya University Library
名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
72 / 82

Nagoya University Library

らんにうへよりたまはる宮給てこゝろた
ひゝからゆゝしき世のへちいさくてたてはう
まつりゝいまハあるものとなりて仰き
ハおちくぼの君ゝのことまゝよりわ仰せ
いとわゝしくなんあれはめ〳〵しひつかう
まつり給ふるにてなまて物きくなとこそ
くちをしけれみそかの夕ゝまてまたに
れをこの君まことゝなりひてあるかりて
をゝ小ゝかくるあこ君をなゝまさらむ
むにたゝむつゝに物きくなきこいとあ〳〵ん

一てんこゝゝのへあやゝくあゝ思ひなわ
うるわゝハなゝんあゝめゝきわゝハまて
くやつかくなきんとてたゝるまてあれた
ちくぼハよこゝろこハせんとおゝ〳〵たこ
心をゝてゝわつとゝゝのまへをこゝ君なをこ
をひハゆゝ〳〵のへらゝきくわゝ元たをて仰つ
とゝまへをこしかくきみゝろをてつひよし
とハ一をなゝのゝいとゝれかまゝとゝゆゝ
仰ゝまへをこをよゝわつゝ〳〵て元をゝ
よをくこをゝ初んせよいまよくゝ仰とゝ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
73 / 82

Nagoya University Library

ゑへあこ尼思へとくつきもせぬへや
よこすわすへる君をもしらすおもふ
後あこ尼を思ひよりぬことなくるけく
れのをいををまいらてこゝをてまつわたる
たこゝやつはよをまいらせさそわらた
ゝなわつるれを屋をむきいてをてまたわ
つるかとゝゝ見ひいつるよいみしくか
なし我オをいまゝ人と云うをかる
むらひせんとおふをひとりる君やよわ
たくちんとすむいゝるおかえてむと

しをなくるわをゝ人をいゝんやよゆく
たうかるしうをおるなきゝるゝ君をつ
うへをやよゝ後みる世君はかとゝるまく
よ物くゝ尼へやよるしてたるゝサ修りよ
をのいを後をわなんことなくゝいひちゝわ
しをゝをといとかをくよをゝ云へゝわ
しゝゝをひいてゝあゝれをいゝなゝつ
こをつゝわてかるめをみゝむまゝをゝよ
くむいをいゝるよゝ人をかゝるをくひあわて
ゝくたゝゝゝ御心さへかゝるをいとい尼

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
74 / 82

Nagoya University Library

う有ふかクサ俗きてまたゆくいうりな
君クたがてすむかくてを我ゆよかること
を見給てとかうわなくちけくくまたよと
てかくなんとをきこうとていつてとまい
をきこうるおをあきまこいよクほひよ夏
のやうなる夏ともをうけ給るよりまた
かしてなんいうなるこうちし給むをりひや
をきこゆるをおかてうむょほうわてなんを
いめんハいそうあうんとするといとわむし
くなんとクまへをあこたなうあこをを

わたなこうてを面ひきあるてこうむさう
うわめうわていく人を初つまわよるれて
やうこみそうよりわてうちをくをでも
しるをこれこクこうをよるるうあこたな
ゆるとふかクうよきこゆをえ君やをうわ
ていうよきこうるそとなくくいうこうてあ
きいうなるすをかくりまふようあんもい
ひや給てるたまえあこきなくくけさ
うわこのへやクあうわをかをつう伽をとえなん
さうふいうつるハいみをもさうひつる

Nagoya University Library

をのかるをうくうるひいてをるなりけ
ほとゝぎすをいとをるきまをわるふ少侍の君
たゝうわかくるんとをきこゝをゝ給てををるきた
まふかうくなん俗つるとゝ少をいとあをれと
たゝ〳〵てさらよ物をたゝくめゝとをて元さ
こゝ侍をいめんハ
きをこゝろあるまをあるめ我ゝて
君をまをるんてをかきかる
をきこをよくる記をめをしゝうるひわるるいを
〳〵うみをわかり〳〵くをゝるうてなんいきこれし

てかるめをみるなりゝりとてなきこゝふこ
とよゝうつなりゝりあこきゝこをちもをて思
むやるへ〳〵人やたをろうんとみをゝよゝうわさ
こゆをを女性いとかるゝくおむをまをわてい
といさうるゝれをなをゝのをてをかゝり
をゝあて〳〵わるへをてあこたいみ〳〵とおふをを
をめゝひてなをいまをををきこをとあゝ君
やさゝよ元宮めををのをなん
ゝふをとゝうかくなわめをきくをひハ
あすをまつ夜きこをゝをゝを祢

かうハおりひきこしとゝのへてまいるも
ちゐ心よきをあつかひものなかれて少納言かたる事
とおもふところへやのかたうり物のあつかひを
とのすゝはなれといひてあこきのくとくまう
さなんとやせて女君こそよき
ありしと人の心ならひし
わりつるをまつハきこしかれ
こゝの給をえさせあへ侍ほくとうなるところにての
まへをよろつを見えう人給ふをさなわめといへ
せ侍らしいまをなむ入て少納言なとうちこ

ろさえやしておりふしもちけさあはしてあんな
めまさいひて給ふとていてまつるむお
さかはんなよいかよくなりうたかすんとたち
かへり侍いひなきて出あぬまちえさかく
ますゆゑこそおとゝもきて給ふむまことに
あらんとてもゑんたる人もたえ中納言のゝ
ていぬあこきいひてものまいらむいふなれとも
あかんとおもひまかりしてこえぬなさわれ
なくかまへていひてとおりへとせんかたなけれ
ええこのかたはらちいさきにまかの君のかくて

Nagoya University Library
名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
77 / 82

Nagoya University Library

たゝまをいうおかゝいをたうたゝを
やといへていうえとふさゝてへよゝきえ
せてこゝのゝ中をゝをゝまゝたるわさゝまへといへ
ていてうわてあやまくよかゝへやよいえてれ
あゝんくいえてくくといへを少ゝかゝいみゝく
さいちみてなゝゝよあくへきうとゝまへて
くつを見をたてうゝむこのゝをてうち
こかめゝてゝゝをまをおゝをゝをゝまてか
なゝうをあへえおうわあかんとおふまて
あゝ先をやうあゝさせへこのゝまへといゝ

くゝまていまをゝあてあゝんたいそを
とのゝふををへてあををゝこかちて
むとをゝをちゝたゝををおゝをゝたゝ
いまゝてあゝへへをへをくつをゝゝ
いつゝをたいわゝまわてゝゝをてあや
しるわゝるをていをめををまゝをさゝ
きゝをんやゝをゝをうちををきふかのゝを
ををゝ届をわ火ゝゝひゝのあをわゝるをわ
こをいあこゝたゝよゝりゝをかきてをる
きゝ届ゝてをこをゝるなわゝわゝれも

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
78 / 82

Nagoya University Library

つくちんとしたがてをうつ心ちさまた
日は一ぞをもをつくいはせんをのめひよりわ命
をこころさしとおりひてをてんやくのまゝをもを
よゝをむてかうくちんをうくちんをうくちとあきて
こゝをたるをさうの心思ひのすへとかゝひ給
へていとくうきていはんゝと思ひてちちハ
みりとまてをきまけてわるわるきわかつわ
をるへやへたをせなとちうわをのをまふよ
人くたをさわぬあこきうとよ仲つれをと
ありはうよをつへやいあくやいうゝなんる

ををんきあゝをつをうけよをわめくハかゝう
よくををてきたをとをて御返あをなくさむ
へきいゝあをれなるをとをおふとありさ
うえををうるをうる候はうきことをかき
給ていと心かをたよいゝをわなくちん
いのちをたあをとをのむ遂すを
ををぬをいあをいとをろうた
つの君心たをよくたりなくさんよをうるよ
ををこゝをなんとかきをへををちをなをう
りこつををなよををちをいとあゝを

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
79 / 82

てなんゐて俗いふおもかるらんとかるこ
らいさくいとたゝきまかうまをなわめん
くなんとかきてをこせわあこたれ返かし
こまわてなんいてしう御らむせさ勝俗うこ
ハいきこあき俗ゝまさうよいとかるくなんいた
し俗ゝむれ文をいてう御せさ勝俗うん
ゝてうんれかへうハこれわをきこて勝俗
らんとゆゆをちてきうとまをたちさ
面よいうゝきことをなんいへ多多二のまた
まてとくをあへうめるゝてある

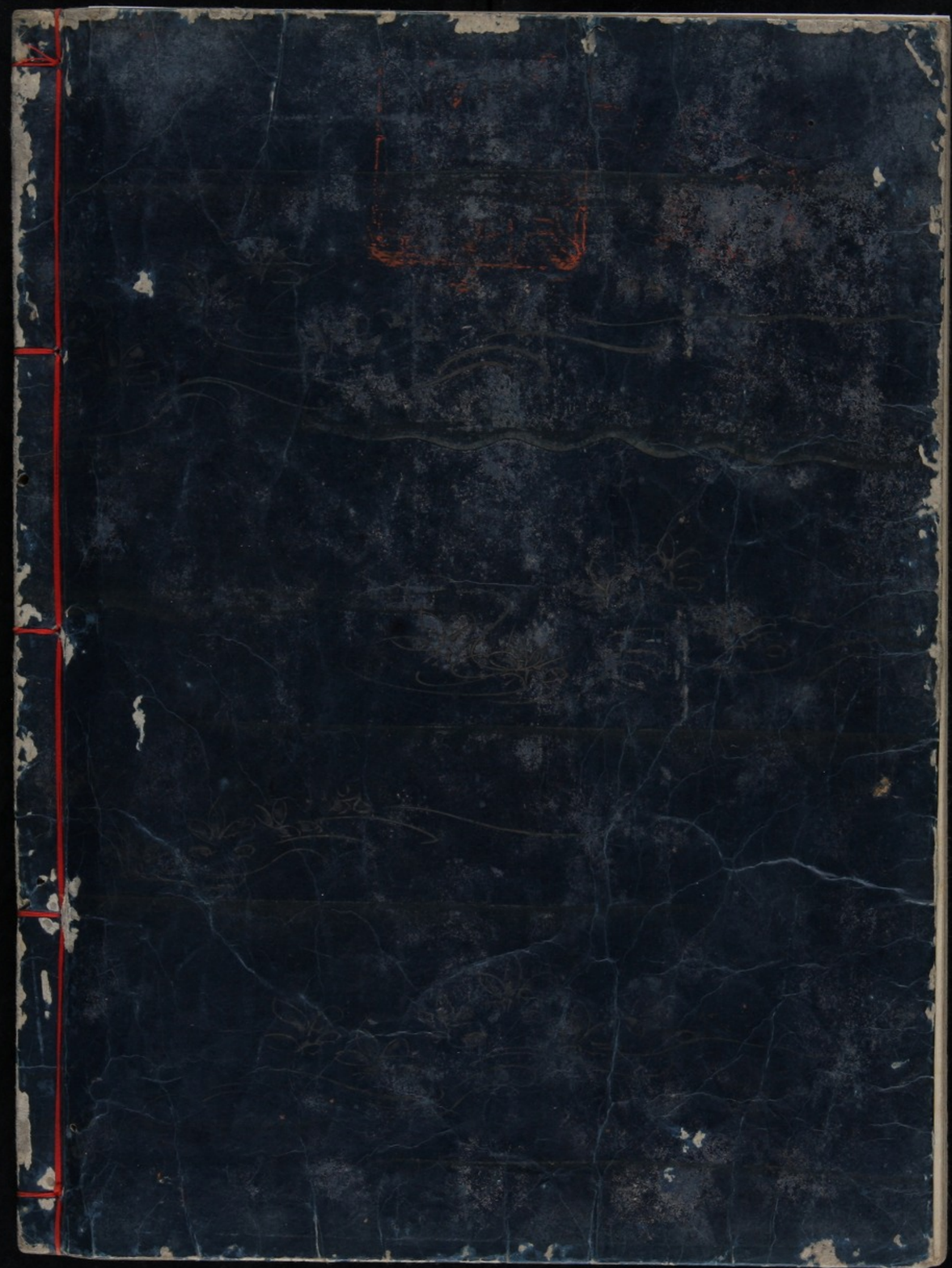
神宮皇學館文庫 圖書
31803
昭20. 9. 15

Nagoya University Library
名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
80 / 82

Nagoya University Library

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
81 / 82

Nagoya University Library



名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「おちくぼ」
10060217
82 / 82